

第 25 回日本語教育連絡会議プログラム
8 月 6 日—7 日 エアフルト大学 LG4 棟 D01 室

	8 月 6 日 (月)	8 月 7 日 (火)
8:30-9:00	受付	
9:00-9:30	9:15 開会	若井誠二(カーロリ・ガーシュパール大学人文学部日本学科)「会話授業とは何か(2)」
9:30-10:00	田中香織 (ヤギェロン大学) 「国際日本学学生ワークショップにおける日本語授業」	ヨシムラさやか(ウィーン大学) 「外国語としての日本語?— 明治時代の沖縄における日本語教育」
10:00-10:30	三上 京子(ICU 国際基督教大学)「在チェコ日系企業で働く日本語話者の実情と企業側のニーズ調査」	小熊 利江 (モスクワ市立教育大学) 「日本語教育機関報告: モスクワ市立教育大学外国語大学 東洋語学部 日本語学科」
	休 憩	休 憩
10:50-11:20	土屋順一 (東京外国語大学留学生日本語教育センター)「留学生による日本語作文における並列表現のかきかえの傾向」	森田衛 (カレル大学) 「ケース・メソッドを用いた日本語授業～チェコの事例紹介～」
11:20-11:50	土屋千尋 (帝京大学教育学部) 「日本語教室という「場」における「日本語活動」の展開」	蓮沼啓介 (神戸大学) 「日本語の論理性」
11:50-12:20	川手ミヤジェイエフスカ恩 (テンプル大学日本校) 「外国語教育における Fluency: 概念と課題」	近藤裕美子(アイルランド教育技術省/国際交流基金日本語教育アドバイザー)・笹本涼子(ダブリン・シティ大学)「アイルランド高等教育機関におけるアカデミックジャパニーズのコース改善: CEFR に基づいた日本語教育実践の一試み」
12:20-13:50	昼 休 み	昼 休 み
13:50-14:30	キャンパスツアー(大学図書館見学など)	学習者追体験プログラム: ラジオ体操と盆踊り
14:30-15:00	岩澤和宏 (国際交流基金関西国際センター) 「学習者の意識化と自己評価」	仁科陽江(エアフルト大学)「文化と言語学習」
15:00-15:30	蓮沼昭子(創価大学) 「順接と逆接の境界—テモ節に外国語の順接表現が対応する場合を例に—」	沼崎邦子 (Herbartgymnasium Oldenburg) 「異文化間教育としての調理実習—Herbartgymnasium での実践から」
15:30-16:00	黒羽友子 (国際武道大学別科武道専修課程) 「留学生への法教育」	富谷玲子 (神奈川大学) 「言語政策の教育現場への反映」
	休 憩	休 憩
16:20-16:50	堀口純子 (桜美林大学) 「大学生の相づちに対する意識と実態」	高橋亘 (ベオグラード大学) 「ベオグラード大学における多読時間に対する意識」
16:50-17:20	マダドナーめぐみ (ウィーン大学東アジア研究所日本学科) 「初級におけるディクテーション」	高橋知也 (チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学) 「露都創刊日本語典・再考」
17:20-17:50	隈本・ヒーリー 順子 (大分大学国際教育研究センター)「欧米の大学に留学する日本人学生の留学動機—言語学習に於ける動機理論を使って—」	林さとこ(津田塾大学) 「大学の教員養成の「出口」を考える(大学の教員養成課程で何を学ぶか)—修了生アンケートから考える—」
17:50-18:30	(19 時より懇親会)	全体会議